現場実証概要(令和6年現場実証結果)

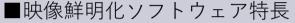
技術名

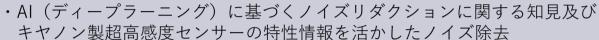
昼夜問わず数km先を鮮明なカラー映像で確認可能な 超高感度カメラ「MS-500」及び「映像鮮明化ソフトウェア」

技術概要

本技術は、新技術SPADセンサー搭載の超高感度カメラ及び映像鮮明化ソフトウェアを利 用し、夜間の監視を行うことで、従来巡視員が現場にて直接目視で行っていた作業を遠隔 で行うことにより、作業員数の削減や効率化を図ることができる技術である。

- ■超高感度カメラ「MS-500」特長
- ・革新的な超高感度SPADセンサー搭載
- ・高い光学性能であるキヤノン放送用ズームレンズに対応するレンズマウント採用









超高感度カメラ SPADセンサ-[MS-500]

実証結果

浮間地区荒川防災ステーションの屋上に、超高感度カメラ「MS-500」及び「映像鮮明化ソ フトウェア | を設置し、3月6日19時30分(日没17時40分)において河川の対岸(610m 先) や三領水門(1.3km先)を撮影した。

既設の浮間地区荒川防災ステーション横に設置してあるカメラ映像と比較し、夜間の河川 や水門、対岸の状況(自転車の通行等)を鮮明なカラー映像で確認することができた。 今後、夜間の監視で活用頂けるようにハウジング、雲台、制御含めたシステムを検討する。

現場実証状況



水門撮影画像



対岸撮影画像





MS-500+鮮明化

既設カメラ

問合せ先

団体名

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

担当者

NVS企画第一課 超高感度カメラ担当

URL

https://forum1.canon.jp/public/application/add/1101